

令和7年度 地域学校協働活動事業における取り組む課題に応じた目標設定について

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標	目標の達成度を測る指標	令和7年度の目標値	令和7年度の実績値	事業における成果、課題、改善点等
登下校において、少子化の影響により児童数の減少や通学路の長距離化等に問題があり、安全確保が必要である。	登下校の安全見守り活動の実施。	市内の全小学校において、登下校見守りを実施している。	児童の安全を確保するとともに、児童と地域のボランティアとの交流を深める。	見守り活動の実施回数 (市内7小学校合算)	1435回	1536回	令和7年度は目標値を大きく上回った。 各小学校の行事等に地域ボランティアが参加し児童との交流を深め、児童の安全を確保できた。今後も登下校の見守り活動を継続。
社会状況の変化等により、体験活動や地域の方々との交流が不足している傾向にある。	放課後子ども教室において、ニュースポーツ等の体験活動を実施する。	ニュースポーツ教室や国際交流等の特別活動を実施。	体験活動を通して、思考力や判断力を育む。また地域の方々との交流を深める。	児童の参加割合	70%	77%	令和7年度は目標値を大きく上回った。 特別活動を通して、地域の方々との交流が深まった。 児童が関心のある特別活動を計画していく。